

ちば修平

しゅうへい

仙台市議会議員(太白区)

市政報告

Vol.5

令和5年1月31日

《発行人》ちば修平
《会派》自民党
《事務所》〒982-0807
仙台市太白区八木山南二丁目1-74

《TEL&FAX》
022-796-2570

メール shuric009@gmail.com
公式HP <https://chiba-shuhei.jp>

未来に誇れる仙台へ！ 松下政経塾出身 元全国紙記者

ちば修平
プロフィール



生年月日 | 昭和50年1月24日

出身校 | 私立太白すぎのこ幼稚園
仙台市立上野山小学校
仙台市立山田中学校
宮城県仙台第一高校(高45回)
北海道大学(法学部)
京都大学大学院(公共政策専攻)

職歴 | 毎日新聞社
公益財団法人松下政経塾(第30期)

役職 | 自民党会派・副政調会長
市民教育委員会・副委員長

活動 | 仙台市立八木山南小学校 PTA会長
八木山駅前商店会 顧問
太白消防団八木山分団 所属

尊敬する人物 | 白洲次郎・原敬・松下幸之助

家族 | 妻・長男(8歳)

趣味 | 茶道(裏千家)
剣道(二段)

3つの強み コミュニケーション力×構想力×政策実現力

ご挨拶 日頃よりの温かいご支援に感謝申し上げます。仙台市議会議員としての活動も3年半を過ぎました。皆様のお力添えを頂きながら、日々全力で活動しております。
長引く新型コロナや、国際情勢の変動に伴う電気料金、物価高の影響により、多くの皆様が日々厳しい状況に直面していることと存じます。自民党会派の副政務調査会長として、市民の皆様の切実なお声をお伺いしながら、より現場の実情に即した対応を政策提言する日々が続いております。引き続き、皆様に最も身近な議員としてお声を市政に届けて参ります。
議会活動の一端を市政報告として作成いたしましたので、ご一読頂ければ幸いに存じます。

仙台の経済を創る！

安定的な電力供給確保

一般質問

令和4年 第四回定例会

次世代放射光施設整備やものづくり国内回帰が進む中、指定都市市長会を通じ安定的な電力供給体制の要請を。

解説

経済安全保障の観点からサプライチェーンの意識が高まり、さらに円安を追い風に、ものづくり産業の国内回帰が始まっています。日本のGDPの約20%は製造業が稼ぎ出しており、まさに製造業が日本の国力と言っても過言ではありません。東北大の一連の試みは、バブル崩壊以降の「過度のコスト競争」を抜け出し「価値を売る経営」への転換へのチャンスです。

電力問題の背景には、電力自由化や、ウクライナ侵攻に伴うLNGの高騰、進めぬ原発再稼働に加え、再生可能エネルギーの賦課金の増加もあります。資源価格の上昇と円安で、内閣府によれば4～6月期には年換算で15兆4867億円もの莫大な所得の海外流出があるなど、待たなしの状況です。

若者が挑戦できる街へ

一般質問

令和4年 第三回定例会

「仙台スタートアップ戦略」を着実に実施。

解説

本市には、東北大学など優れた大学があり、優秀な若者が集まりやすい街である一方で、首都圏に比べると、就職先として魅力的な企業がまだまだ少なく、就職を機に首都圏へ出て行ってしまおう若者が多いという現状があります。仙台をイノベーションが次々と生まれる「スタートアップの聖地」に育てていくことができれば、優秀な若者が働く面でも魅力を感じられる街になります。

安心して子育てできる仙台を創る！

子供の弱視早期発見

一般質問

令和4年 第四回定例会

3歳児健診の際、専用機器を用いた屈折検査の早期導入を。併せて「視能訓練士」の配置も。

解説

弱視とは、視力の発達時期に適切な視覚刺激が受けられないため、年齢相応に視力が発達しない視覚中枢の発育不全のことです。5歳を過ぎるとすでに弱視が完成されており、弱視は小学校入学までに治療を完了することが有効とされています。

一方で現在、弱視の発見には、3歳児健診の際、専用機器である「フォトスクリーナー」を用いて屈折異常などを調べる屈折検査が、各地で大きな成果を上げています。例えば、松江市では、導入前に0.6%だった要治療時発見率が、導入後は3.6%になりました。

青山地区で起きた無差別巻き込み型事件

一般質問

令和4年 第三回定例会

子どもたちに「逃げ方」の訓練を

解説

近年、子供たちも含め誰もがターゲットになりうる「無差別巻き込み型の事件」が全国的に増えて居ます。恐怖で全く抵抗できないときでも、最悪の事態を回避するための「逃げ方」を日頃から訓練しておくことは、大いに役に立つと考えます。子どものすばしっこさを活かしたロケットダッシュの練習、腕をつかまれた時にジタバタして逃げるチャンスを作る練習、かみつく練習などがあります。調査によると、20メートル逃げると犯罪者はあきらめる傾向があるとのこと。

弾道ミサイル対策

一般質問

令和4年 第四回定例会

「大規模地下緊急一時避難施設」の拡大や周知徹底と地下施設を使った、住民参加型の避難訓練を。仙台市民を安全かつ確実に守り抜くための、真剣な議論と方策を行うことが必要です。

市長

我が国を取り巻く安全保障環境は緊迫の度を増していると認識している。仙台市国民保護協議会の部会において、検討中の避難の考え方にに基づき、弾道ミサイル攻撃を想定した国、県との共催による市民参加型の訓練を来年度（令和5年度）、予定している。

解説

本市では、国民保護法に基づき、昨年3月8日、大規模地下緊急一時避難施設として、仙台市地下鉄24駅舎と仙台駅東西地下自由通路を指定しました。地上施設に比べ、爆風や破片から身を守るために有効とのことですが、避難可能な市民は約3万人弱であり、数は全く足りていない状況です。市民センター等の公共建造物の地下施設のみならず、病院、会社やデパートの地下施設、地下駐車場など、民間の地下施設と協定を結び、指定を進めるべきだと考えます。

万が一、ミサイルに核や生物兵器を搭載している場合、空気浄化システムが搭載されていない我が国の避難所が果たして住民の生命を守るために耐えうるのか、疑問を感じざるを得ません。NPO法人「日本核シェルター協会」が発表した資料によれば、各国の人口あたりの核シェルター普及率は、スイス、イスラエルが100%、ノルウェーが98%、アメリカが82%、ロシアが78%、イギリスが67%であるのに対して、日本は0.02%とのこと。この状況に対し、まずは相手国に有事を起こさせない「抑止力」の構築こそが最も重要です。外交交渉が通じる相手ならば良いのですが、国際社会は理性のみで成り立つほど、甘くありません。

修平抄

昨年6月に支給された夏のボーナスを巡り、担当職員が源泉所得税の納付期限を誤り、延滞税など約5,000万円が課されることになった問題を受け、11月に仙台市議会議員協議会が開催されました。自民党会派を代表し、私が質問に立たせて頂き、多重的、組織的なチェック体制の欠如、コミュニケーション不足、職責の重さの自覚不足等を指摘し、再発防止策の徹底を求めました。本来ならば決済の過程で気づくべき話です。また、問題の重さに対する関係者処分は果たして適正なのか、問いかけました。市民の皆様には大変申し訳なく、慚愧の念に耐えません。

4病院再編成と救急搬送体制

決算等審査特別委員会

令和4年 第三回定例会

仙台赤十字病院等の4病院再編に伴い、2病院が仙台市から退出し移転した場合、救急体制にマイナスの影響が懸念されることを県に対し指摘していますが、これに伴い救急搬送体制にどのような影響が見込まれるか。

消防局長

市域外からは救命センターを有する三次病院と、それから脳卒中や循環器等の専門病院に対して引き続き相当数の搬送が見込まれますので、仮に2病院が移転した場合は、県の思惑とは反対に本市の受け入れ負担というのが増大する。加えて、本市の救急出場件数が増加傾向にある中で、今般のコロナ感染症第7波のように医療体制が逼迫した場合には、搬送困難事案のさらなる増加や病院収容時間の延伸など、本市の救急搬送に深刻な影響が生じるものと大変危惧をしている。

解説

救急搬送への深刻な影響に加え、将来的な仙台医療圏の人口減や経営課題への対応という観点で考えた場合でも、周辺地域から減っていくことを考えれば、まずは仙台市を中心に医療基盤を築くことが重要であり、今回の再編は逆行すると考える。仙台赤十字病院等は地域の医療ネットワークにおいて、非常に重要な役割を果たしてきた中核病院であり、ここが抜けてしまえば診療所や介護施設などは体制を再構築せねばならず、患者や地域への影響は大変大きい。本市の周産期医療システムも再構築が必要となり、妊娠・出産期の子育て支援への影響も大きなものがあります。

メガソーラーと林野火災リスク

決算等審査特別委員会

令和4年 第三回定例会

仙台市内の森林等に作られた大規模太陽光発電（メガソーラー）には林野火災リスクと、消火活動中に感電するリスクもある。消防車も侵入困難なケースも想定される消防の対応を問う。

消防局長

山間部の狭い地形等に加え、感電の恐れもあり消火活動が難しい。適切に対応する。

解説

メガソーラーの下草が火災で燃えた場合、太陽光パネルは日中は発電を続けるため、接近すると感電リスクがあり、噴霧注水や絶縁性の高い手袋装着など、特殊で困難な消火活動になります。特に人が常駐しない山間部や森林のメガソーラーには、消防車も侵入困難で林野火災に発展するリスクがあります。

活動報告

伊達家霊廟・瑞鳳殿、無尽灯廟の石灯笼の耐震化補修を進めています



3月

「緑が丘四丁目公園」開園式典でご挨拶



4月

議会質問について町内会の皆様にご報告



8月

八木山テラスが国交大臣賞受賞郡和子仙台市長を表敬訪問



12月

詳しい一般質問や質疑応答は

仙台市議会インターネット議会中継



松ヶ丘、青山地区境界の所有者不在の大規模擁壁に関する議会質問について、町内会の皆様にご報告させていただきました。